



全国畜産縦断いきいきネットワーク

いきいき通信 第40号

2025年2月



本号では令和6年度総会、全国畜産縦断いきいきネットワーク大会、行政との意見交換会、山形県での現地視察研修について報告いたします！

～目次～

 令和6年度総会開催報告	1
 令和6年度大会開催報告	2
 令和6年度 新規加入会員の皆様	11
 行政ご担当者との意見交換会 in 霞が関	12
 現地視察研修会 in 山形県を開催しました！	18
 協賛会員の皆様	22

令和6年度総会開催報告

令和6年10月29日(火)に全国畜産縦断いきいきネットワークの令和6年度総会を東京都下にて開催しました。

下記のとおりご報告いたします。

【報告事項】

令和5年度の活動報告を実施しました。



総会の様子

令和6年度大会開催報告

令和6年10月29日（火）、全国畜産縦断いきいきネットワークが開催されました。

大会には会員の皆様を始め、協賛会員や各県畜産会、農林水産省から総勢109名の方々に出席いただきました。

今年度実施した、畜産女性経営者育成研修会は中央畜産会が実施する多様な担い手育成支援事業^(※)の一環として開催されました。

【次第】

■大会テーマ：今こそ国産の力を！～国産畜産物の魅力を発信しよう～

■開催日時：令和6年10月29日（火） 14：00～17：30

■開催場所：全国家電会館 5階講堂

■開催内容：

開 会

主催者挨拶 畠中 五恵子さん（福岡県）

来賓挨拶 農林水産省 大臣官房審議官 郷 達也 様

公益社団法人中央畜産会 副会長 姫田 尚 様

畜産女性経営者育成研修会

テーマ：「今、畜産業ができること」

講演者：農林水産省 畜産局 企画課長 廣岡 亮介 様

2分スピーチ

大会宣言

閉 会

※中央畜産会では、多様な担い手の育成等を目的に、独立行政法人農畜産業振興機構から補助を受けて実施しています。

本事業では、女性経営者、後継者等を対象に、経営管理技術の向上等を図るための研修会を開催し、肉用牛生産の中核的な担い手の育成を図っています。

○会場の様子

今回は初めて協賛会員のブースを設置しました。ブースには株式会社天神製作所様、株式会社中嶋製作所様が出展し、資料の配布や機器の紹介を行っていました。さらに協賛会員の皆様よりお送りいただいたチラシ等は資料に同封しました。



← 株式会社天神製作所 様

家畜の糞を攪拌する機械やペレットマシーン、ペレットの袋詰め機などの製造・販売をしています。

株式会社中嶋製作所 様 →

畜産飼料給餌機や自動収攪装置、洗浄ロボットの製造・販売をしています。



← 前会長の柴田誠子様より
お祝いのお花をいただきました。

会場の演台に飾るととても
華やかになりました！

○今年度の司会のお二人



久保 香代子さん（埼玉県・肉用牛）



砂流 裕美子さん（島根県・酪農）

○会長挨拶

畠中 五恵子さん（福岡県・採卵鶏）



全国畜産縦断いきいきネットワークは来年で 20 年を迎えますが、立ち上げ当初には考えもしなかったような危機が次々訪れています。震災や口蹄疫、鳥インフルエンザ、豚熱と 20 年前には起こらなかったことばかりが最近では当たり前になってきて、本当に苦しい経営を強いられている会員がたくさんいることと思います。

また、人件費や飼料価格の高止まりも続き、20 年前と比べると経費は 1.5 倍以上になっているにも関わらず生産物の価格は大きく変わらな

いため、畜産経営は危機を迎えています。

こういう時だからこそ、全国に支え合える、励まし合える、前向きな姿勢を見習える仲間たちがたくさんいるのはとてもありがたいことです。

特に若いメンバーのエネルギー、そしてその頑張っている姿に、我々ベテランは刺激をもらい、見習っていかれたらと思います。

この大会に参加できた会員は、是非このエネルギーを地元を持って帰っていただいて、地域の皆様にも共有してください。

○来賓挨拶

農林水産省大臣官房審議官（兼消費・安全局兼輸出・国際局）郷 達也様並びに公益社団法人中央畜産会 副会長 姫田 尚様よりご祝辞をいただきましたので、要約にてご紹介します。

【郷審議官】



家計を預かる消費者でもある全国の女性生産者の皆様が日頃から感じている思いを仲間と共有し、男性にはない気づきや視点をもってさまざまな課題が降りかかる日本の畜産を将来につないでいくために、これまでの努力を重ねてきたかと思います。

魅力いっぱいの国産畜産物がいしくて安全なものが大好きで、そしてちょっとわがままな日本の

消費者を引き続き笑顔にできるよう、皆様が全国の仲間を通じてファンを増やしていくことが非常に重要です。また、広がりつつある輪が本日集まった女性以外の仲間たちも巻き込み、日本の畜産の明るい未来に繋がっていくことを心より祈念いたします。

【姫田副会長】

畜産物を生産することは大切で、また、消費者の皆様に安全なものを作るためにはそれなりにコストがかかっていることをご理解いただき、国産畜産物を買っていただくことが非常に重要ですので、本会もPRをしているところです。

日本産の畜産物は安全というブランドで人気があり、まだまだ輸出拡大の余地があると思います。

安全・安心な畜産物をこれからも供給していくためにIT化など次世代が経営しやすいようにしていくべきで、畜産農家相互の意見交換を大切に、力を合わせて日本の畜産を盛り上げてほしいです。



○畜産女性経営者育成研修会

農林水産省 畜産局 企画課長 廣岡 亮介 様

【テーマ】今、畜産業ができること～今こそ工夫を～

○日本の畜産業を振り返ろう

○新しい基本法

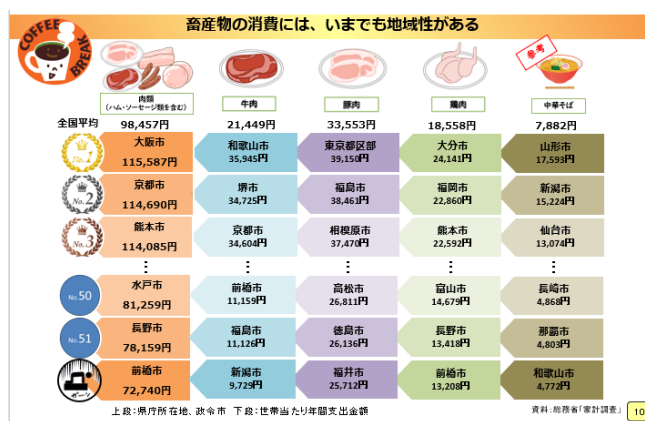
○畜産での女性の役割は重要

○エサ高を超えて～腕の見せどころ～

○まとめ



講演する農林水産省畜産局企画課の廣岡亮介課長



日本の農業が直面する未来

① 農業者の減少は農業生産に大きな影響与える

今後20年間で、基幹的農業従事者は現在の約 **1/4** (116万人→**30万人**) に**まで減少**すること等が見込まれ、従来の生産方式を前提とした農業生産では、農業の持続的な発展や食料の安定供給を確保できない。

② 人口が減る農村をどう維持するか

基幹的農業従事者・兼業農家ははじめとする多様な農業者は減少し、いわゆる土地持ち非農家として、農村に住んでいない人に相続されていく。農業生産としての**農地の保全活動の役割が果たせなくなる**。

③ 人口減少によって急速に国内市場が縮小していく課題にどう対応するか

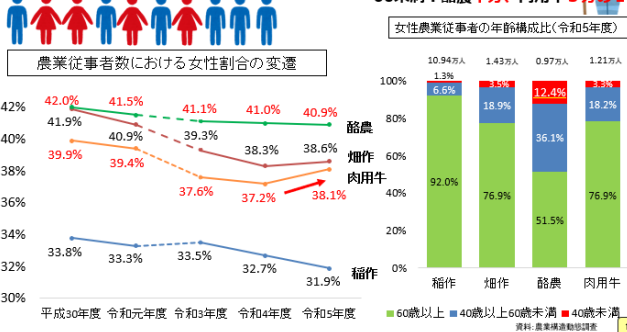
日本の農業・食品産業は国内市場志向が極端に強く、国内でつくったものの**2%しか輸出できていない**。

12

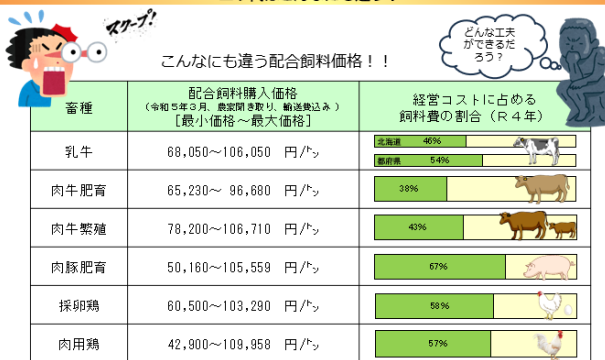
畜産は女性に人気！！

畜産業は女性の従事者は多い方！

特に酪農に従事する女性は若い！
60未満：酪農**半分**、肉用牛**3分の1**

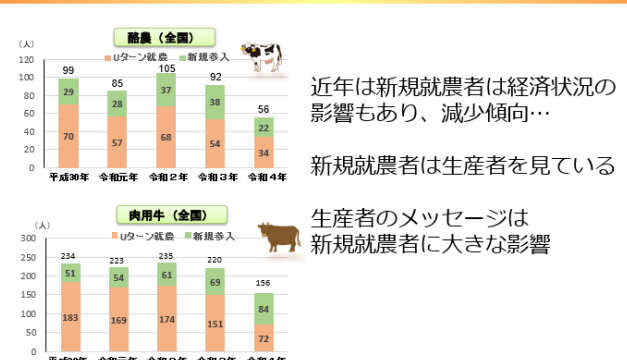


エサ代はこんなにも違う！



21

最近の新規就農の状況



28

○意見発表会（2分スピーチ）

大会の恒例である発表を行いました。

皆様からは経営に対する苦労話や飼料価格高騰に対する悩み、地域での取り組み内容などについて発表いただきました。

中には全国の仲間と話せる喜び、中名がいる心強さなど、いきいきネットワークを通じて元気をもたらしている人達がいることが分かりました！

意見発表の様子



○大会宣言

最後に佐藤菜菜子さん（新潟県・養豚）により
大会宣言が発表され、満場一致で採択されました。

大会宣言は 10 ページのとおりです。



○情報交換会

大会終了後に情報交換会を開催しました。今回は久しぶりに会員の皆様より
畜産物をお持ち込みいただき、参加者の方々に食べていただきました。

また、今年設立 20 年となるいきいきネットワークの活動を写真にて紹介しました。



うつくしま福島畜産
mother's クラブ e-EN
(福島県) より牛肉のゴロ煮



杉村雅子さん（静岡県）
ドライソーセージ



北見満智子さん（神奈川県）
カボチャケーキ



石川あい子さん（愛知県）
ポークジャーキー



畠中五恵子さん（福岡県）
チーズケーキ

情報交換会の様子



来賓挨拶として、農林水産省畜産局畜産振興課の冨澤宗高課長よりご挨拶をいただきました！

乾杯のご発声は、（公社）山口県畜産振興協会の石野芳江次長（写真左）並びに令和5年度にいきいきネットワークに入会した松本眞利子さん（山口県）のお二人が行いました。



いきいきネットワークの過去の写真を投影すると会場からは「懐かしいね」、「若かったね」などの声が上がっていました。

締め挨拶は本郷万里子さん（長野県）が行い「頑張ろう！」で参加者が拳を上げていました。



令和6年度大会宣言

私たち畜産女性は、もっと日本の畜産をよくしたいと強い志を持っています。しかしながら、自然災害や家畜伝染病の発生、生産資材価格高騰など厳しい状況が続いています。さらには、担い手不足等による畜産農家戸数の減少に歯止めがかかっていません。

このような中で畜産を持続的に発展させていくためには、次代の畜産を担う人材の育成と消費者との交流や理解醸成を図っていくことが大切です。

だからこそ、私たち畜産女性の力を集結し、地域や畜種の違いを乗り越え、さらに多くの畜産の仲間たちと一致団結していきましょう。

これからも仲間とともに持続可能な畜産経営の実現と次世代につながる魅力ある畜産の構築に向け、多くの方々が私たち活動の輪に参加することを呼び掛けます。

宣 言

1. 次世代につながる魅力ある畜産経営の実現と未来のために、全国で活動する畜産に携わる女性が、「全国畜産縦断いきいきネットワーク」に集い、活動の輪に加わるよう呼び掛けます。
2. 私たちは、畜産を取り巻く様々な課題に対して、畜産の基本である家族経営の発展を旨とし、関係団体、都道府県、国と一体となって取組みを進めてまいります。
3. 私たちは、安全な畜産物の生産供給に努め、農場 HACCP への取組みなど、徹底した飼養衛生管理を行うことにより、国産畜産物に対する信頼の一層の向上に努めます。
4. 土地基盤に立脚した安定的な畜産経営を目指し、国産飼料の生産と利用の拡大や未利用資源の活用を図ります。
5. 畜産業をはじめとする農林水産業、食品産業、消費者が連携し、持続可能な畜産を確立し、食糧安全保障の観点からも国産畜産物が国民一人一人に行き届くよう取組んでまいります。
6. 引き続き我が国畜産のすばらしさを生産現場から発信し、消費者との交流を深め、国産畜産物の消費拡大を呼び掛けます。

以上、宣言します。

令和6年 10月 29日

令和6年度 新規加入会員の皆様

今年度、本ネットワークに加入いただきました2名の生産者をご紹介します。

■福田 祐子さん（福島県・酪農）



■柿澤 美里さん（神奈川県・酪農）



行政ご担当者との意見交換会 in 霞が関

全国畜産縦断いきいきネットワーク大会の翌日に、農林水産省の職員の皆様と畜産を取り巻く課題について意見交換会を開催した。今年は、いきいきネットワークの会員10名、農林水産省の関村静雄審議官（畜産局担当）をはじめご担当者13名が参加しました。

以下は、その意見交換会の要旨です。

開催日時：令和6年10月30日（水）10：00～12：00

開催場所：農林水産省 畜産局第1会議室

テーマ：①疾病対策、獣医師等について

②飼料用米の動向について

③農畜産物の適正な価格形成について

④経営継続のための施策について

テーマ①疾病対策、獣医師等について

（１）獣医師等について

■肉用牛繁殖経営 松本 眞利子さん（山口県）

地方の獣医師は本当に大変。獣医師なるのも大変だし、なってからもケガなどのリスクも高く、過酷な業務をされている。人数が少ないことは理解しているが共済の獣医師がもう少し増えないと大変だと思う。

■農林水産省

現在、獣医師全体は4万人いるが産業動物獣医師（臨床獣医師＋家畜衛生関係の公務員）は8千人弱と全体の2割ほどしかない。

また、地域によっては、診療所は農家までの移動距離が長く、診療効率が上がらないこともあり業務の負担となっている。さらに、男女問わず育休取得などによる代替職員の確保ができずに業務負担があるという話も聞いている。

産業動物獣医師の働き方について、家畜の状態によっては農家から連絡を受ければ可能な限り対応しているとの現状も聞いている。人の医者にも応召の義務の考え方があるが、獣医師でも、農家の理解も得て、適切な診療体制を構築することで働き方を改善できればと思う。

産業動物獣医師数の不足について、地域によってはその確保に苦慮しているところ。農林水産省では、獣医学生等に対し奨学金支援などを行っているが、獣医系大学に入る人のほとんどが小動物志望であると聞いている。このため小・

中・高校生の時期、特に小・中学生のタイミングで産業動物獣医師の仕事が世の中にとって大事であることを保護者も含めて理解していただき「産業動物獣医師という仕事がある」という認識の上で獣医系大学に入ってもらうように取り組を実施しているところである。

すぐに解決はできないが、さまざまな支援を通じて、獣医師の働き方、処遇改善も含め産業動物獣医師の確保につなげたいと考えている。

■酪農経営 小林 晴香さん（北海道）

遠隔診療はNOSAIでも始まっているという話は聞いているが、道東地域でも具体的にいつごろから開始するのかは不明。

だが、そもそも携帯がつかない。ICT化といっても、光回線は昨年、町内全部に通線したところであり、獣医師も牛を廃用にする際、個体識別番号の写メを撮影して送ってやり取りをするが、携帯がつかないため、電波が届く所に移動し送付する必要がある、時間だけが経過していく。

4Gもままならない状況で5Gって何なのか…という状況で、北海道は農場の敷地も広く、圏外も普通であることから、せめて牛のいるところでは電波等の通信整備（ケーブル等）を引きたいが、調べてみると200～300万円と現実的ではない。発情発見装置を付けるにも少し離れた育成牛舎では100万円かかってしまうため、通信環境を良くしてもらえると嬉しい。

■農林水産省

現在、農林水産省では、スマート農業を推進しているが、推進に当たっては、関係省庁と連携して対応を進めている。通信の関係は総務省の所管であり、畜産以外の分野でも通信環境の問題は出てきていると聞いている。このため、我々も同じ問題意識を持っており、総務省には働きかけているところ。短期的な課題ではないので、現場からの声を継続的に関係者間で共有しながら、通信環境整備を促していくことが重要と考えている。

（２）疾病対策について

■肉用牛繁殖経営 松本 眞利子さん（山口県）

放牧中の牛が体調を崩す双口吸虫が発生しているのだが、治療する薬がないと言われた。あるとしても体力を上げるようなサプリメントしかないと言われた。

地域の保全面や経営面からみても放牧は良いものだと思うので、寄生虫対策についてお願いしたい。

■農林水産省

製薬メーカーには要望は伝えていくが、動物医薬品業界も財政的に体力が落ちているところもあるため、使用してくれる農場が少ないと売れない製品を製造・販売することは困難であるということをご理解いただきたい。

また、寄生虫病対策の研究も含めて何かできるところがないか農林水産省でも検討していきたい。

テーマ②飼料用米の動向について

■採卵鶏経営 本郷 万里子さん（長野県）

飼料価格は高止まりしている中、補填金も元のお金がない状況で支払われるお金がない状態である。その中でも飼料用米と子実コーンを農場で使用させていただいているのだが、本当に助かっている。今後農家に補助金がこのまま交付され続けるのか中止されるのかで対応が変わってしまうのではないかと。

8月に考えた質問だったが、その後コメ不足が発生したため、来年の作付けの際に飼料用米用の畑で食用米に転換されるのではないかと不安に感じているため、そうならないよう行政にお願いしたいと思う。

■農林水産省

水田活用支払交付金等について説明。

作付転換の恐れについては、ニュース等でもあるように主食用米の価格が昨年と比較しても大幅に上がっているため、農家サイドでは主食用米を生産しようという意識が高まっているのは事実。

令和6年産の作付面積を見ると、飼料用米の作付面積は減少しており、主食用米の作付面積が微増している。中身を分析してみると、飼料用米の中でも一般品種（主食用米を飼料用米に使用）を作付けている農業者が主食用米に作付転換することが多く、逆に、多収品種（飼料用米等）を生産している農業者は、引き続き飼料用米を生産いただけていることが多い。

農林水産省としても、飼料用米の多収品種による取組をすすめ、安定的に供給されるよう、水活においては、飼料用米の一般品種と多収品種の間に単価差を設けている。主食用米の価格に左右されない安定した生産ができるよう今後とも支援していく。

■養豚経営 石川 あい子さん（愛知県）

現在耕作放棄地も多いので、飼料用米生産を斡旋する方がコストを下げられると考え、愛知県半田市でも働きかけていたが、減少する一方だった。水田も

農家個々がやっているのではなく企業型でオペレーターを配置して生産しているところもあるが、飼料用米の生産はどこまで増えていくのか気になった。

■農林水産省

飼料用米の安定的な供給を確保するためには、畜産農家と結びついている農家をしっかり確保していく必要があるだろう。

来年の末までに地域計画をすべての市町村で作っていただくこととなっているが、その地域で何を作付けしていくか、耕作放棄地を少なくするための対策等を検討いただくこととなっているため、畜産農家の近くでの飼料用米の生産を促していただくことで、継続した営農ができるのではないかと思う。皆様の積極的な意見を市町村にも伝えてほしい。

■採卵鶏経営 畠中 五恵子さん（福岡県）

現在、地域計画の会議が始まっているが、米生産者の高齢化などにより、しっかりとした計画が立てられない。

■農林水産省

耕種農家も高齢化や人手不足など課題はあるため、飼料作物を取り入れることで、省力的に管理する畑と高収益作物を生産するなどの運用方法が有効だと思われる。地域計画においても飼料作物の作付を計画に反映していただけたらと思う。

③農畜産物の適正な価格形成について

■肉用牛経営 杉村 雅子さん（静岡県）

食料・農業・農村基本法が改正された中で、農産物の適正な価格形成という部分は非常に嬉しく思う。生産者は消費サイドに比べ弱い立場にあり、自分たちで価格を付けづらい場合がほとんど。生産者にとっても収益につながる価格形成はどのようにして実行されていくか。

■農林水産省

畜産物だけではなく、食料全般を対象に適正な価格形成に関する協議会を開催しており、その中に生産から消費までの関係者に入ってもらい、議論を重ねている。

どのような仕組みにしていくかは議論中であり、具体的な本日はお話できないが、丁寧に合理形成を図り、令和7年の通常国会で法案を提出すべく検討している。

一方で、畜産物でも品目が多岐にわたり、それぞれ生産・流通が異なる。例えば牛肉であればセリで価格が決まる、価格下落時にはマルキンが措置される、外国産との競合があるといった特徴がある。

このため、単純にコストを積み上げた価格にすればよいというわけにはいかないことから、品目ごとの実情や関係者の意見を踏まえて検討していく必要がある。

④経営継続のための施策について

■酪農経営 小林 礼子さん（島根県）

国の方々に支えてほしいのは価格の部分しかない。生産者は価格を上げてほしく、消費者は販売価格が上がると買えないといわれると本末転倒。牛乳は適正な価格で消費者にあった価格でたくさん飲んでいただきたい。牛乳というタンパク源を定価で生産しているのだから、消費が低迷するような価格で販売してほしくない。だからその差額を国で保障していただきたいと考える。

為替がこんなに変わると生産者は経営を維持できずやめてしまう。辞めた農家は再生できないため、つぶさないようにしていきたい。経営がずっとトンネルの暗闇で光が見えない状況が続いていて苦しいが、いつか明かりは見えると信じている。そのため、国には経営基盤が崩れないように補助をいただければと思う。

■酪農経営 吉田 英子さん（埼玉県）

野菜等は生産者と消費者が相対であれば価格や流通量で決まってくると思う。しかし、牛乳は生乳販連やメーカーの存在、国と国での取り決めなどもあり、海外からの輸入分もある。牛乳だけではなく、乳製品も含めて相対だけで国内生産物だけでは計れないものがある。

昔より生産量は技術の発達によりリアルタイムで計測できるのではないかな。全国のリアルタイムデータを一手に集めることもできると思う。そのデータを活用しAI分析等ができないか。酪農は2年サイクルであるため、増減は容易にできないため、生産量、流通量の把握というのは大切だと思う。

■農林水産省

継続的な経営はとても大切であると認識している。所得の補償という面については、国からの補填制度を仮に作った場合、その補填を前提とした、安い乳価をメーカー側が提示してくると思う。国としても酪肉近の見直しをしており、経営への備えについてどうすべきか検討している。経営に波があるので良い時は備え、悪い時は耐え抜く資金を準備していくことが大切である。それだ

けではどうにもならないときには国が対応し、乳価を上げる交渉をしやすい環境を整えるなど、危機を乗り越えられるように努めていきたい。

リアルタイムデータは最近出てきているため、今後も情報発信をしっかり行いたい。

意見交換会の様子



参加者した会員の皆様



現地視察研修会 in 山形県を開催しました！

令和6年11月13～14日に山形県下にて現地視察研修会を実施しました。研修会には29名（うち、いきいき会員5名）が出席し、講師の方々からの講演を聴講したほか、山形県の畜産女性グループである「モアモー女性の会」の会員との交流を深めました

以下は、その研修会の要旨です。

開催日時：令和6年11月13日（水）～14日（木）

開催場所：①山形県農業総合研究センター畜産研究所
②ホテルビューくろだ

講演内容：①山形県畜産の現状と持続可能な展開方向

講師：（公社）山形県畜産協会 専務理事 上野 宏樹 氏

②山形牛のおいしさと最新の研究状況

講師：山形県農業総合研究センター 畜産研究所
主任専門研究員 小松 智彦 氏

③山形県における乳牛改良事業の推進

講師：山形県農業総合研究センター 畜産研究所
開発研究専門員 渡部 真理安 氏

④繁殖から肥育・加工・販売まで一貫体制による安全・安心な牛肉を提供

講師：（株）蔵王ファーム 常務取締役 高橋 美幸 氏

参加者（いきいき会員）

- ・福田弥生さん（神奈川県・酪農）
- ・原 由美さん（山梨県・肉用牛）
- ・杉村雅子さん（静岡県・肉用牛）※夫の昭彦さんと参加
- ・小林礼子さん（島根県・酪農）
- ・松本真理子さん（山口県・肉用牛）

○1日目の様子



（公社）山形県畜産協会
の上野専務理事から、山
形県内の畜産をめぐる情
勢や課題、対応について
講演いただきました。

畜産研究所の小松研究員（写真
左）からは、山形牛の特徴やおいし
さ、食味の「見える化」に向けた研
究、種雄牛造成等についてご紹介い
ただきました。

同研究所の渡邊専門員（写真右）
からは、能力等が高い牛の受精卵を
海外から購入し、生まれた牛から
OPU（経膈採卵）で優秀な受精卵を
生産することで地域内の優良子牛増
産に関する内容をご紹介いただきました。



○情報交換会の様子

情報交換会スタートは、山形県の「モアモー女性の会」の今田須磨子さん（肉用牛）にご挨拶をいただきました。

今田さんからは「他県との交流ができてうれしい」とコメントいただきました。

今回の研修会には山形県から4名の生産者の方に参加いただき、交流を深めました。



情報交換会がスタートすると、違う地域の方々と交流をしており、地域での違いや牛の管理方法などの情報交換をしていました。

締めは杉村雅子さんにご挨拶いただきました。杉村さんは夫の昭彦さんと一緒に参加し、山形県での肉用牛生産の特徴や出荷に関する質問などをしていました。

いきいきネットワークからは5名が参加しました。



○2日目の様子



株式会社蔵王ファームの高橋常務取締役からは蔵王ファームの紹介をはじめ、現場で働く女性の役割や働きやすい環境づくりなどについてご講演いただきました。

研修会の様子

質疑応答の場面では、参加者から多くの質問があり、盛り上がっていました！



協賛会員の皆様
(五十音順・敬称略)

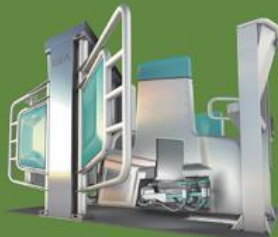
- ◇ オ リ オ ン 機 械 株 式 会 社
- ◇ 一 般 社 団 法 人 家 畜 改 良 事 業 団
- ◇ 株 式 会 社 コ ト ブ キ ソ リ ュ ー シ ョ ン
- ◇ 全 国 肉 牛 事 業 協 同 組 合 連 合 会
- ◇ 全 国 肉 牛 事 業 協 同 組 合
- ◇ 公 益 社 団 法 人 全 国 農 業 共 済 協 会
- ◇ 全 国 農 業 協 同 組 合 連 合 会
- ◇ 全 国 畜 産 農 業 協 同 組 合 連 合 会
- ◇ 全 国 酪 農 業 協 同 組 合 連 合 会
- ◇ 株 式 会 社 大 建 情 報 シ ス テ ム
- ◇ 一 般 財 団 法 人 畜 産 環 境 整 備 機 構
- ◇ 中 部 工 コ テ ッ ク 株 式 会 社
- ◇ 株 式 会 社 天 神 製 作 所
- ◇ 東 西 産 業 貿 易 株 式 会 社
- ◇ 株 式 会 社 中 嶋 製 作 所
- ◇ 公 益 社 団 法 人 日 本 食 肉 格 付 協 会
- ◇ 協 同 組 合 日 本 飼 料 工 業 会
- ◇ 株 式 会 社 日 本 農 業 新 聞
- ◇ 一 般 社 団 法 人 日 本 ホ ル ス タ イ ン 登 録 協 会
- ◇ 一 般 社 団 法 人 日 本 養 鶏 協 会
- ◇ 一 般 社 団 法 人 日 本 養 豚 協 会
- ◇ 日 本 養 豚 事 業 協 同 組 合
- ◇ 独 立 行 政 法 人 農 畜 産 業 振 興 機 構
- ◇ 株 式 会 社 博 秀 工 芸
- ◇ 富 士 平 工 業 株 式 会 社

協賛広告
(協賛会員の皆様)

省力化が、強い経営力に。 GEA



ロータリー型搾乳ロボット
DAIRYPRQ



マルチ/シングルボックス搾乳ロボット
Dairy Robot
R9500
オリオン機械株式会社
www.orionkikai.co.jp

心をつなぐ新鮮ギフト
お肉のギフト券
Gift Card for Meat



全国
加盟店
共通

全国食肉事業協同組合連合会 ☎ 03 (3582) 1241

お肉のギフト券は、全国加盟店
どこでもご利用になれます。

トップレベルの遺伝子が
畜産の発展に貢献！

当団は家畜改良と関連業務を通じて、
畜産農家の収益性の向上と経営体質の強化を支援していきます。

このため、引き続き優良な種畜の効率的な作出と、
その精液や受精卵の供給、各種事業の推進に加え、
より付加価値の高い技術として、ゲノミック評価の活用、
性選別精液・体外受精卵の提供に注力していきます。



P 黒 1154
福勝鶴

JP5H61521
バツハ

 一般社団法人 **家畜改良事業団**

〒135-0041 東京都江東区冬木 11-17 イシマビル ☎ 03-5621-8911



コトブキソリューションは、 2つの事業で成り立っています。

システム開発事業

拠点：本社(興市)、広島支社(広島市)、
東京支社(東京都新宿区)

WEB システム、データベース、
組み込み系開発等々
様々なシステム開発を行っています。



ゲーム事業

拠点：東広島スタジオ(東広島市)、
大阪スタジオ(吹田市)

ブランド名 ^{ケムコ}KEMCO にて、
ゲームの企画、開発、販売
を行っています。



www.kemco.game

「ケムコ」で検索をしてみてください。
私たちの作品を見ることができます。



株式会社コトブキソリューション

URL <https://www.ksol.jp>

お問い合わせメール info@ksol.jp

●東京支社

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-8-1 大塚駅前ビル 2F
TEL 03-3225-3515 FAX 03-3225-5445

●本社

〒737-0046 広島県興市中通 2-6-6 寿工業ビル
TEL 0823-21-4956 FAX 0823-21-8800

組合員の経営全般をサポート！



全国肉牛事業協同組合

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-22-12

J Cビル2F

TEL 03-3503-8380

FAX 03-3503-8382

<https://www.jcic-f1.jp/>

◆肉用牛及び酪農経営コストを低減し儲かる経営のため、預託、
共同購買、簡易牛舎事業、福利厚生事業を実施しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



一緒に見つけませんか



家畜診療

農業共済獣医陣唯一の

技術指導専門誌

月刊・定価一〇〇〇円（送料共）

毎週水曜日発行

月ぎめ 四九五円
年ぎめ 五五二〇円（送料共）



農業の明日

営農、暮らし、地域の活性化へ



どんな地方でも…
各戸に郵送される農業専門紙
中央と全国の農家とを
固く結ぶ定期便です

発行所 公益社団法人 全国農業共済協会 東京都千代田区一番町19 TEL 03 (3263) 6413 FAX 03 (3221) 7978

全農

80歳のおばあちゃんになっても、 私らしい酪農を追い求めていたい。

雄大な空、広大な緑の大地。北海道、別海町。
そこに、ぬくもりある木造の天井が印象的な牛舎がある。
その中で、ひたむきに自らの酪農を追求する若い女性酪農家の姿があった。
後継者として就農し10年、意を決し昨年、この新たな牛舎を建てた。
牧場でともに働く雄牛たちを思い、「彼女たち」が好きな時に食べ、寝て、
搾ってもらえる理想の牛舎を実現するために。
また、80歳になっても現役で自分らしく酪農を続けられるように。
大きな投資になったが、搾乳ロボットや自動給餌器などの導入も決断した。
そうして、つくいだした時間も活用し、
彼女は地域の女性酪農関係者を繋ぐ新たな試みも行っている。
「私が楽しんで酪農を続ける姿を見せることで、
私のような女性後継者がもっとあたりまえになってくれたらうれしい」
笑顔で語ってくれた。

今、酪農の現場で働く女性たちによる、
地域や職種を超えた新たな繋がりが広がっています。
こうした流れをきっかけに、彼女たちの多彩な個性が活かされ、
それが地域の絆とも結びつけば、
日本の酪農はより豊かになると思うから。

全農は、これからも酪農家を交えるとともに、
酪農関係者たちの絆を応援し続けていきます。



○撮影：北海道別海町 小林牧場 全農は、中央酪農会議の「MILK JAPAN」運動と連携し、酪農の理解醸成に取り組んでいます。

2018年朝日新聞（全国版）、北海道新聞に掲載

～全酪連代用乳製品～

子牛用代用乳   

F1子牛用代用乳  

和牛・ET和牛用代用乳 

ホルスタイン・子牛強化哺育®用  

和牛・F1子牛強化哺育®代用乳 

全国酪農業協同組合連合会 東京都渋谷区代々木1-37-2 酪農会館
Tel 03-5931-8001

 女性の経営参画と酪農後継者を応援する

全国酪農青年女性会議

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 全酪連総務部内 電話 03(5931) 8003

酪農青年女性会議 公式LINE @642bpcwk 

私たちはITで畜産経営を応援します

畜産経営管理支援ツールの開発・提供
予算管理システムの開発・提供
地図情報システムの開発・提供
システム利用に関するご提案・ご支援

① 畜産経営管理支援ツール開発部門

畜産経営管理支援ツールの開発・提供
畜産経営管理支援ツールの開発・提供
畜産経営管理支援ツールの開発・提供
畜産経営管理支援ツールの開発・提供

② 予算管理システム開発部門

予算管理システムの開発・提供
予算管理システムの開発・提供
予算管理システムの開発・提供
予算管理システムの開発・提供

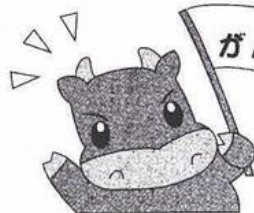
③ 地図情報システム開発部門

地図情報システムの開発・提供
地図情報システムの開発・提供
地図情報システムの開発・提供
地図情報システムの開発・提供

株式会社大建情報システム
Daiken Information System Inc.

〒111-0041 東京都台東区元浅草2丁目6番6号 東京日産台東ビル4階
URL <http://www.daiken-system.co.jp>
担当：営業部 池田





がんばろう、畜産!!

全国畜産農業協同組合連合会

代表理事会長 加藤 義康
副会長理事 荒牧 弘幸

本所・東京都中央区新川2-6-16 TEL 03-3297-5531(〒104-0033)

支所・東北・東京・福岡 帯広(事業所) 神戸(事業所) 南九州(事業所)



ちくかんリースで、 日本の畜産を元気に



◆畜産環境整備機構は、畜産農家の皆さまを機械や施設のリースで応援しています。また、畜産環境の技術開発や堆肥の分析なども行っています。

◆クラスターリース・畜産ICTリース・楽酪GOリースが更に利用しやすくなりました。詳しくはHPをご覧ください。

一般財団法人 畜産環境整備機構

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1

☎ 03-3459-6300 FAX 03-3459-6315



<https://www.leio.or.jp>

糞尿堆肥化、ペレット、袋詰め設備

全国 500か所の実績 信頼と実績の丈夫で故障が少ない機械です。

みどりの投資促進税制の対象(認定)機械

実績 ○畜産環境対策総合支援事業、畜産・土づくり堆肥生産流通体制支援事業

○県耕畜連携堆肥活用推進事業



地球環境に貢献 株式会社 天神製作所

本社 宮崎県都城市都北町7210-2 北海道営業所・工場 千歳市駒里2246-30
TEL0986-47-1825 FAX0986-47-1826 TEL0123-26-7511

—明日の畜産界をになう—



未来の「食」産業を切り開くため、
「ナカマチック」は進化し続けます。

株式会社 中嶋製作所

<https://www.nakamatic.co.jp/>

〒388-8004 長野県長野市篠ノ井会33番地
TEL.026-292-1203 (代表) FAX.026-293-1611



公益社団法人

日本食肉格付協会



〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-1-2 (NCO神田淡路町 2F)

電話 03(3257)0220 (代) FAX 03(3257)0224



◆公正かつ厳正な格付を実施し、食肉・畜産関係者や消費者の利益になるよう務めております。

農場の防疫作業を省人化・効率化 石灰散布機 **石灰ゼスト**



New!!
ZQ-70

レバーを握るだけで自動で走行
防疫作業&運搬作業の負担を軽減します



レバーを握ればぐんぐん走行



壁際まで均一に石灰を散布



散布部を外せば電動荷台に

東西産業貿易株式会社
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-17-8

【お問い合わせ】
東日本エリア TEL: 03-3815-3147
西日本エリア TEL: 096-213-4010

農業・JA・地域をつなぐ全国メディア



**JA(農協)グループが発行する
農業の専門紙です**

全国のJAなどが出資している日本農業新聞が発行しています。農家組合員とJAグループをつなぐ農業の専門紙です。



**国内最大の発行部数。
ウェブ分野にも注力**

農業専門日刊紙として最大の部数を誇ります。全国の拠点で印刷し、毎朝、一般紙朝刊と同じように宅配しています。
スマートフォンやパソコンから閲覧できる電子版も創刊し、いつでもどこでも読める新聞へと進化しています。



農村マーケットを
対象にした広告・PRは
日本農業新聞が
お手伝いします。

**農家を主体に幅広い層に
読まれています**

地域のリーダー的な農家やJA役職員が読者の8割を占めており、関係省庁・団体・地方自治体、農業関連企業、生協、市場関係やスーパーなど幅広い層の方々に読まれています。

お問い合わせは、日本農業新聞広告部 **メール** koukoku@agrnews.co.jp

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞



一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会

2025 年 10 月 25～26 日

第 16 回全日本ホルスタイン共進会北海道大会開催。

詳しい情報はQRコードから。



〒164-0012 東京都中野区本町 4 丁目 38 番 13 号
電 話 03(3383)2501 F A X 03(3383)2503

北海道支局
〒001-0015 札幌市北区北 15 条西 5 丁目 1-5
電 話 011(726)3111 F A X 011(726)3135



**(一社)日本養鶏協会は、
全国畜産縦断いきいきネットワークを
応援いたします。**

一般社団法人日本養鶏協会
会長 米山 大介





日本豚
JAPANESE PORK



お米で育った畜産物

GO! GO!
ブタミンパワー!

日本養豚協会 (JPPA) の活動は
日本の養豚家の皆さんを
元気にします!!



一般社団法人 日本養豚協会 (JPPA) ホームページ: <http://pig.lin.gr.jp/>

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2F

TEL: 03-3370-5473 FAX: 03-3370-7937

【ポークマン公式Twitter】 <https://twitter.com/porkman.jppa>

【ポークマン公式Instagram】 <https://www.instagram.com/porkman.jppa/>

日本の養豚家を元気にする!



日本養豚事業協同組合

Japan Swine Farm Business Cooperation

TONJIKYO

日本養豚事業協同組合 (豚事協) は、

中小企業協同組合法に基づいた農林水産大臣から認可された事業協同組合で、国内生産者と関連する業界とが協力しあって共に養豚業を“夢ある産業”にすることを志す生産者のための生産者による組織です!

豚事協では、養豚生産用資材を安価供給し、養豚に関する最新情報を提供するセミナーや海外視察研修などを実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。

〒104-0033 東京都中央区新川 2-1-10 八重洲早川第2ビル6階

TEL03-6262-8990 FAX03-6262-8991

URL: <https://tonjikyo.or.jp> e-mail: info@tonjikyo.or.jp



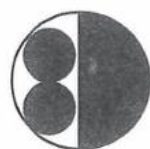
牛乳の力。 日本の力!



日本酪農政治連盟

委員長	柴田 輝男	副委員長	宮本 貞治郎
会計責任者	宮本 貞治郎	同	清水 清人
常任顧問	砂金 甚太郎	同	三宅 穰次
同	隈部 洋	同	臼井 勉
		幹事長	坂本 保
		事務局長	吉村 薫

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-37-2〈酪農会館5F〉 TEL 03(3370)1741(直通) FAX 03(3370)1779



よいエサ ————— よい畜産

協同
組合

日本飼料工業会

★国内外の農畜産物の「最新情報」を発信しています!

alic

Agriculture & Livestock Industries Corporation
独立行政法人 農畜産業振興機構



SNSでも情報発信中



〒106-8635 東京都港区麻布台2-2-1 麻布台ビル 電話 03-3583-8196 (代表)

▼メルマガ登録はこちら▼

魅せる 紙面 グラフィック

新しい発想でさまざまな変化を受入れ 素早く適応し
より経験豊富なチームで動きはじめています

グラフィック (DTP・展示・WEBサイト)
企画・デザイン及び印刷業務、
シンポジウム運営業務

HAKUSHU
ARTS

株式会社 博秀 工芸

代表取締役 村瀬 科博

〒113-0034 東京都文京区湯島3-21-4 第1三倉ビル7F

Tel. 03-3836-3680

<http://www.hakushu-arts.co.jp/>



IS 518517 / ISO 27001

富士平工業株式会社では、日本の獣医療・畜産業と人とペットの豊かな生活を守るため、
研究開発・製造販売に全力で取り組んでおります。

子牛用防寒着

国産

ぽかぽかーふ

寒さに弱い子牛の為に作られた防寒着です。
人用ジャケットの素材 (キルト) と防風素材で出来ており、
風を通しにくく暖か設計です。撥水仕様で、縫製方法
にこだわっています。

※柱へのひっかけ等想像以上に力が加わった時の破損を保证する
ものではありません。



KM 式黒毛和種 子牛体重推定尺

子牛の胸囲を測定して体重推定に使用します。
黒毛和種の雌雄を問わず測定できます。

用途 (推定体重): 生後 ~ 10 カ月程度の子牛 (35 ~ 328kg)
計測範囲: 0 ~ 1,600mm
質量: 80g



動物用一般医療機器

動物用電子体温計 FHK

動物の直腸内の検温 (体温測定) 時に
使用します。測定時間は約 30 秒で
実測温度を表示します。挿入部位は
TPE 樹脂で製造されているため、
柔軟性があります。安心の
国内製造品です。



外形寸法: 幅 46mm
奥行き 120mm
高さ 123mm
(挿入部 100mm)

質量: 約 50g (電池含む)

日常生活防水

外観・仕様は予告なく変更することがあります。

FHK

富士平工業株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷6丁目11番6号
TEL(03)3812-2271(代) FAX(03)3812-3663
URL/<http://www.fujihiira.co.jp>

北海道富士平工業株式会社

〒001-0027 札幌市北区北27条西9丁目5番22号
TEL(011)726-6576(代) FAX(011)717-4406
帯広支店 〒080-0027 帯広市西17条南1丁目15番27号
TEL(0155)58-1811(代) FAX(0155)58-1815

(広告掲載ご協力の皆様)

生産者と共に豊かな食生活を未来へつなぐ
「JA全農くみあい飼料」に統合

 JA全農くみあい飼料株式会社

本店：〒373-0015 群馬県太田市東新町818番地
東京本社：〒100-6832 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル31階



公益社団法人 畜産技術協会
会長 石原 哲雄

月刊「畜産技術」

「全国畜産関係者名簿」

「牧草・毒草・雑草図鑑」

「和英・英和畜産用語集」

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9 TEL 03 (3836) 2301 FAX 03 (3836) 2302

<https://jlta.jp>

農家と牛を支える
牧場のパートナー



U-motion®で
どんなことが
わかりますか？

疾病
傾向

発情
兆候

分娩
兆候

起立
困難

イヤタグ
出ました！

その他にも、疾病になりやすい牛をラベリングしてリスト化したり、タイムラインに体調変化やワクチン接種などの記録・コメントを残したりと、牛の観察をサポートする様々な機能を備えています。



デザミス株式会社 desamis.co.,Ltd

〒135-0064 東京都江東区青海 2-7-4 the SOHO 417
TEL : 03-6380-7239 Mail : contact@desamis.co.jp
Web : <https://www.desamis.co.jp>

U-motionを
もっと詳しく



U-motionと
連携できるサービス



U-motionユーザーの
牧場様とのコラボ動画



総合印刷
情報関連
出版関連
総合企画・デザイン

京和工業印刷 株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1 丁目18番地6
TEL 03-3356-3591(代表) FAX 03-3356-3593
E-mail:kyouwakougyo@ia0.itkeeper.ne.jp

汚染水を出さない
水なし印刷

森林を守る
森林認証紙

プラスチック削減に
ライメックス

さらにやさしい
ノンVOCインキ

山口北州印刷は水を
大切にしています。

山口北州印刷株式会社

【本社工場】〒020-0184 岩手県盛岡市青山4丁目10-5
【東京支店】〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-11 外濠スカイビルディング3F



畜産映像情報

がんばる! 畜産! 8



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

今、畜産業は担い手不足や国際化の進展など、大きな変化の局面にあります。そんな中、飼料を自ら生産したり、省力化を図ったりと、さまざまな工夫で素晴らしい経営を行っている生産者がたくさんいます。

このサイトでは、そうした各地の優れた畜産経営や、後継者の活躍、おいしくて安全な畜産物を消費者の方々に届けるまでを映像で紹介しています。

この映像情報を生産者の方々はもとより消費者の方々と共有することで、元気で健全な畜産の発展につなげることを目指しています。



なるほど! 畜産現場

このコンテンツでは、畜産物ができるまでや、現場を支える職人たち、馬事文化などあまり知られていない様々な畜産現場を紹介します。

●配信中的内容●

総集編 思いが繋ぐ畜産の未来／総集編 畜産DX 2023／明るい未来へ向けて畜産DXの取り組み／東北一の酪農郷葛巻町の酪農に迫る ほか

畜産トレンド発見!

このコンテンツでは、生産現場での省力化技術や、飼料用米やエコフィードなどの活用による飼料コスト削減など、「技術」に着目して各地の事例を紹介します。

●配信中的内容●

天皇杯受賞等から見る畜産優良経営／乳用牛改良の取り組み／地域ぐるみで国産飼料生産!／令和5年度全国優良畜産経営管理技術発表会

ほか

グリーンチャンネル
でも放送中

--- 放送日 ---
毎週月～金曜日
朝7時～

「がんばる! 畜産! 8」

URL : <https://jlia.lin.gr.jp/ganbaruchikusan/>

(お問合せ先)

公益社団法人中央畜産会 経営支援部 (情報)

TEL : 03-6206-0846 FAX : 03-5289-0890



編 集

全国畜産縦断いきいきネットワーク事務局 《(公社) 中央畜産会》



TEL : 03-6206-0843 (事務局直通) FAX : 03-5289-0890

e-mail shien@sec.lin.gr.jp

ホームページ : <https://jlia.lin.gr.jp/joseinet/>

会員も随時募集中です！